

水泳指導について

令和6年5月13日(月)

鳩ヶ谷小学校

1 プール使用期間 (6月10日～7月22日)

- (0) 救命講習会(全職員) 4月10日 講師:川口市消防局職員
- (1) プール清掃 児童5月29日(水)5・6時間目 予備日5月30日(木)
職員5月30日(木) 予備日5月31日(金)
- (2) プール開き 6月10日(月)
- (3) 着衣水泳の実施 7月17日(水)(6年生のみ)
- (4) 夏休みの水泳指導 実施なし
- (5) 水泳記録会 7月18日(木)午後 本校プールにて実施(通信制大会)
- (6) 水泳チャレンジ 1学期終了までに学年で検定日を設けて実施

2 水泳学習参加の有無について

- (1) 水泳学習の参加の有無については、事前に家庭との連絡・確認の上、指導していく。
 - ・保護者向けに水泳学習についてのお知らせと水泳学習前健康調査用紙を配布し、水泳学習参加申し込みを受ける。(forms)
 - ・水泳学習の日は**水泳学習カード**を使用し、保護者による児童の健康観察を行う。児童の安全に関わるので、記入は正直・正確・具体的に書くように、**押印は保護者が行う**ように呼びかける。水泳学習の欄の参加・見学のどちらかに捺印していただく。

(2) 原則として以下の時は水泳学習の参加ができない。

- ① 定期健康診断の結果、「検診結果のお知らせ」が出ている者は医師の許可が出るまで、また、治療するまで

内科……心臓病・腎臓病・肝臓病・結核疾患・伝染性皮膚疾患等
眼科……眼けん炎・結膜炎等目に病気のある者
耳鼻科……中耳炎・外耳炎・耳垢栓塞・鼻炎等耳や鼻に病気のある者
その他……病気回復直後の者(医師の許可)
尿検査二次検査陽性者
熱・下痢・風邪等でからだの調子がすぐれない者
睡眠不足や朝食を食べていない者
伝染病

※共通理解を必要とする児童については連絡(養護教諭より)するが、その他の児童の健康状態については、担任が必ず把握しておくこと。

②水泳学習カード忘れや記入漏れや学習用具の忘れ

- ・水泳学習カードを忘れた時
- ・カードの記入もれや保護者印のない時
- ・ぼうし、バスタオルなど学習用具を忘れた時
- ※上記のような不備があった時は、家庭に連絡して確認を取るとはしない
- ※登校後の状態が異常のあるときは泳がせない

③次の場合は、指導を見合わせる。

- ・水温が22℃に満たないとき
- ・雨天(雷を含む)、水質の汚濁が著しい時
- ・指導者の人数が少ない時(指導者3人以上)
- ・光化学スモッグ警報発令の時
- ・WBGT指数が31を超える時

指導可能な水温のめやす

- ①最低水温…22～23℃以上なら可
- ②水温+気温…45～50℃以上なら可
- ③気温-水温…3～6℃以内なら可

(3) その他

- ・ラッシュガードは、フード・チャック・ひもなしのものを用意してもらう(水着や帽子に準じて、背中に名前をつける)

3 水泳指導について

(1) 指導時間について

- ・各学年10時間を確保する。
- ・雨天等による不足は、予備枠や学年間で交渉し時間を確保する。

(2) 指導内容

- ・年間指導計画、年度当初各学年配付の「系統表」、水泳チャレンジカードに基づき、各学年で検討する。

【教員の役割】

- ①主指導 1名
- ②プール内・プールサイドで指導 1～2名
- ③監視 1名（ビブス着用）

(3) 時間割

- ・水泳指導期間中は、特別時間割で実施する。

(4) 水泳指導の流れ

1	担当学年による、水温・気温の測定、残留塩素等水質検査の上プール指導の可・不可の判断（日誌・職員室内ホワイトボードへ記入）
2	水泳学習カードによる健康観察
3	各教室での着替え
4	サンダルを履き、タオルをもってプールに向かう
5	入口でサンダルを脱いで入る
6	プールサイドの所定の場所にタオルをかける、サンダルを置く
7	プールサイドに腰をおろし、バディの確認（男女別学級別の参加児童・見学児童を日誌へ記入）
8	準備体操を行う
9	シャワー（帽子をとる）⇒帽子をしてプールサイドで座って待つ
10	水なれ
11	本時の学習活動
12	人数の確認・整理運動
13	シャワー（帽子をとる）
14	児童は教室へ行き、着替え → プール片付け

バディの確認の仕方

児童を左右のプールサイドに、それぞれ2列で並ばせ、体育座りで待たせる

①「バディを確認します。」（教師）

②「バディ！」（教師）

③「オー！」（児童） 隣の児童と手をつなぎ、手を挙げて立ち上がる

教師が番号を言いながら前から順に座っていく

一番後ろは3人組になってもよい 最終のペアの数で人数を確認する

記録の教員が数を確認する

5 指導上の留意点

- ① 学年ごとに実施する
- ② 指導開始・終了時に内線を使用し、職員室へ連絡をする
- ③ 準備運動は、軽く汗をかく程度に行う
(安全上ビーチサンダル・タオルを着用して校庭を走ることはしない)
- ④ タイヤ側のコンクリートを通してプールへ行き来する
- ⑤ 水慣れは徐々に行う
- ⑥ 泳ぎ始め、泳ぎ終わりに特に注意する(泳ぎ終わりの事故が多い)
- ⑦ プールサイドは絶対に走らせない
- ⑧ 飛び込みはさせない
(プールに入るときは、サイドの手すりを持ち、足から入るように指導する)
- ⑨ 常に人員確認に留意する。(バディの活用を図る)
- ⑩ 見学はプールサイドの日陰で帽子を着用して行う
- ⑪ 水泳指導後は、洗顔をよく行い、シャワーをあびてから終わりにする
- ⑫ 水泳指導後は、プール内外の点検を行う
- ⑬ 校舎内に入る前に、体と足を十分に拭き水分を取る(児童の転倒防止)
- ⑭ 髪留めなど金具のついたものは禁止する
- ⑮ 水泳指導前に用便を済ませておくように指導する
- ⑯ バンドエイド等をつけてプールに入らせない
(出血がみられる傷がある場合は、プールには入らせない 完全に治っていない傷も同様)
- ⑰ 水着には必ず名前をつけさせる(タオル・水泳帽子・水着など持ち物には必ず記名させておく)
- ⑱ つめが伸びていないように気をつける
- ⑲ 指導の際は、児童に無理をさせない(一度に入る人数、泳ぐ長さ等)

<水泳学習における合図>

水中に入る時(水慣れ)

ハンドサイン	笛の合図	児童の動き
1	ピッ	プールのはじめに立つ
2	ピッピッ	こしをかける
3	ピッピッピッ	バタ足
4	ピッピッピッピッ	体に水をかける
5	ピッピッピッピッピッ	後ろ向きでゆっくり入る

運動中

笛の合図	児童の動き
ピ———ッ	スタート
ピッピ———ッ	やっていることをやめて先生を見る
ピッピッピ———ッ	すぐにプールから上がる

6 施設及び水質等の管理について

(1) 朝：原則として1・2時間目に水泳指導のある学年が準備

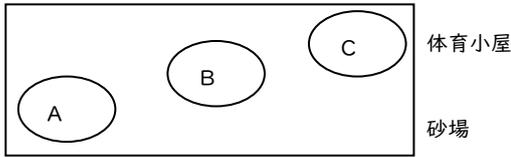
- ・プールの栓が閉まっているか確認する
- ・ろ過装置の圧力メータを確認する ⇒ 「1. 2」を超えていたら濾過器を洗浄
- ・プールサイド、プール内に危険物がないか確認する
⇒ 夜間に危険物等が投げ込まれていないか
- ・滅菌機のスイッチが入っているか確認 ⇒ 塩素が送られているか確認
- ・気温、水温を測定し、職員室のホワイトボードに記入する

(2) 水泳指導前

- ・AED（プールセット）を持っていく。
- ・気温、水温、残留塩素濃度・PHを測定し、プール日誌に記入
- ・浮遊物や水の汚濁はないか調べ、浮遊物を取り除く。
※複数の教師で確認
- ・プールの残留塩素濃度により滅菌機の操作を行う。

- ・AED
- ・温度計、水温計
- ・プール日誌
- ・塩素、pH
- ・緊急時の対応マニュアル

残留塩素濃度	
プール	0.4～1.0ppm
腰洗い槽	50～100ppm



<残留塩素・ph測定位置>

(3) 水泳学習後

- ・プールの栓が閉まっているか確認する
- ・使った用具などをもとの場所に戻す
- ・プール内、プールサイドの清掃を行う
- ・滅菌機のスイッチが切れていないか確認する（滅菌機、ろ過装置のスイッチは切らない）
- ・放課後に、塩素顆粒1袋プールに投入する（金曜日の放課後は、3袋投入する）
- ・機械室、出入口などの施錠を確認する。児童だけの入場はさせないこと

(4) ろ過装置の洗浄

- ・体育部を中心に行っていく

7 水泳指導開始前の準備について

(1) プールの排水・注水について ※消防署に水を抜いている期間を連絡する。

- ①排水期日 5月27日（月）朝から
- ②注水期日 6月4日（火）朝から

(2) プール清掃について

- ①日程 令和6年5月29日（水）5・6校時に6年生が行う。（予備日30日）
5月30日（木）放課後に職員が行う。（予備日31日）
- ②職員作業 16：00

場所	内容	分担
トイレ・更衣室	①床・棚をきれいにする ②備品や用具の整理	2
シャワー・腰洗い槽、プールサイド	①泥や葉の除去 ②床をきれいにする	1・3
プールの底	①泥などを洗い流す ②こけを落とす ③排水のビスを止める（最後）	5・6・教務
プールの壁	①こけ等を落とす ②流水口の清掃	4

- (3) ろ過機の取り扱い・日誌の書き方の説明・・・体育部から各学年に伝える。
- (4) タオルをかける場所・・・さおだけや洗濯ばさみなどで対応する。

< プール日誌枠 >

月	日	曜日	気温 ℃	天気 晴・曇・雨	校長印	教頭印	主任印			
水温	残留塩素			透明度	塩素投入量		WBGT	pH		
℃	A mg/l	B mg/l	C mg/l	良 否	滅菌機	顆粒袋		A	B	C
朝の点検項目				チェック	改善・修理すること			点検者		
水中の危険物はないか										
プールサイドの危険物はないか										
水漏れはないか（栓が閉まっているか）										
虫や浮遊物、毛虫の発生はないか										
機械室・シャワーに異常はないか										
ろ過装置の圧力メーターが1. 2を超えていないか								滅菌機 晴天 1 5 0		
滅菌機の中身がテープ以下になっていないか								通常 5 0		
滅菌機の数値 5 0								放課後 5		

校時	入水者数			温度	残留塩素	pH	透明度	塩素投入	指導者
1・2 校時	年 組			気温 ℃	A mg/l	A	良	滅菌機	全体
	男子 人	女子 人	水温 ℃	B mg/l	B	水中			
	排水口の蓋は固定されて いるか、腐食はないか		チェック	WBGT	C mg/l	C	否	顆粒 袋	監視
3・4 校時	年 組			気温 ℃	A mg/l	A	良	滅菌機	全体
	男子 人	女子 人	水温 ℃	B mg/l	B	水中			
	排水口の蓋は固定されて いるか、腐食はないか		チェック	WBGT	C mg/l	C	否	顆粒 袋	監視
5・6 校時	年 組			気温 ℃	A mg/l	A	良	滅菌機	全体
	男子 人	女子 人	水温 ℃	B mg/l	B	水中			
	排水口の蓋は固定されて いるか、腐食はないか		チェック	WBGT	C mg/l	C	否	顆粒 袋	監視

放課後の点検項目	チェック	引継ぎ事項等	点検者
使った用具はもとの場所にあるか		※週末は顆粒3袋投入、滅菌機10にする。	
滅菌機の液体塩素がテープ以下になってない			
滅菌機の数値5、顆粒1袋投入			
施錠を確認			

緊急時の対応マニュアル（指導教員別は別途）

事故発生

児童の生命を最優先に
した最善の対処をする。

- ・ 他教職員への応援要請
- ・ 他の児童への指示・安全確保
- ・ 二次災害の防止
- ・ 管理職への連絡
- ・ 119番通報等
- ・ 児童への応急処置

排水溝の異常
・ 吸い込み事故
○ 浄化装置の停止
○ 排水口に近づか
ないよう指示

119番通報

「救急です。」

鳩ヶ谷小学校の〇〇です。

●●が発生しました。

症状は□□です。

住所は鳩ヶ谷本町1丁目6番
3号です。

電話番号は281-1054
です。

救急車が来るまでの応急処置

- 外傷等の確認
- 心肺蘇生法（AED）
- 毛布で保温

校長・教頭

事実確認・内容確認

- ◇ 経過の記録
- ◇ 児童への指示
- ◇ 全職員への行動指示
- ◇ 保護者への連絡

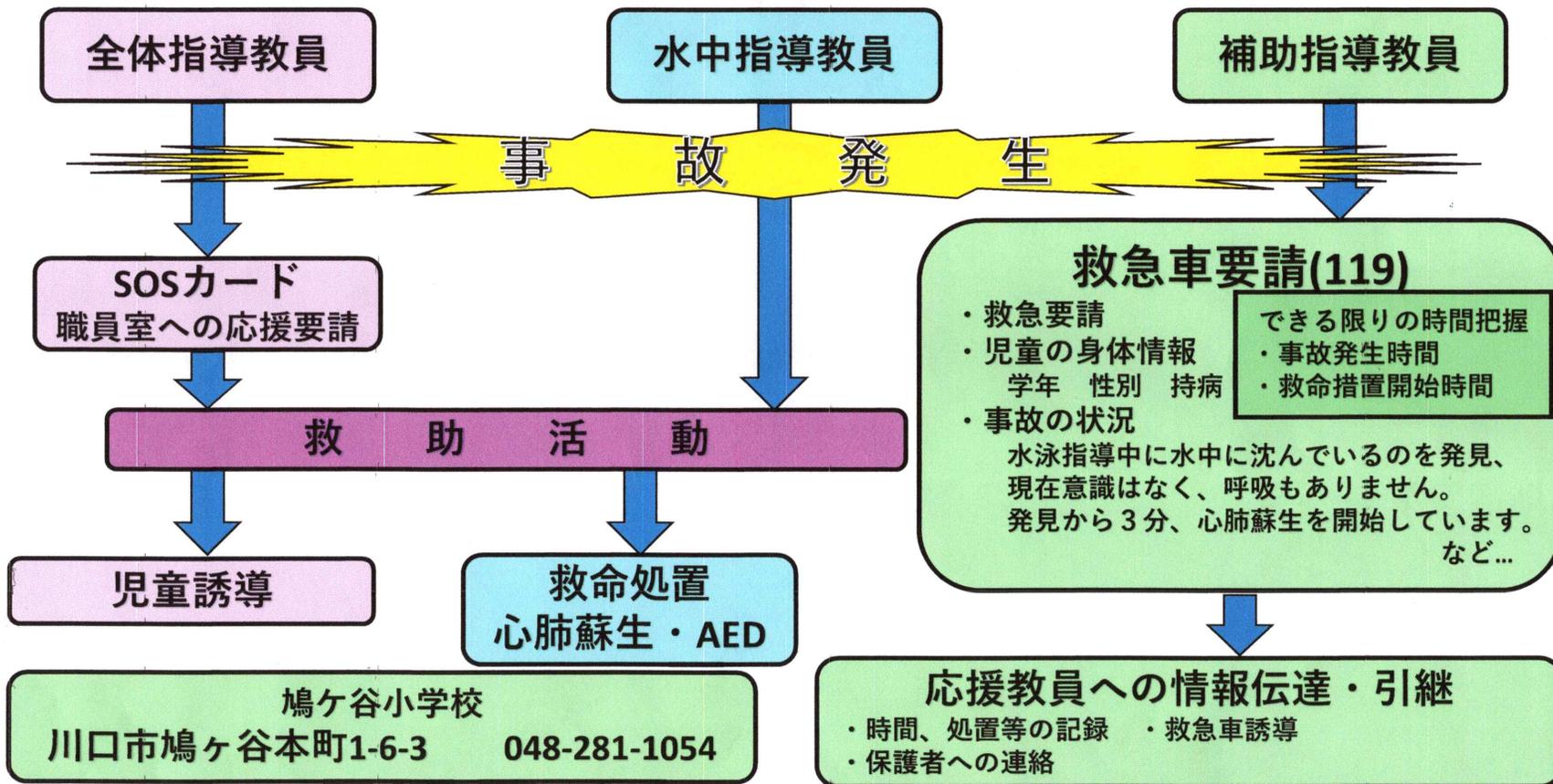
教育委員会への一報

川口市教育委員会

電話番号

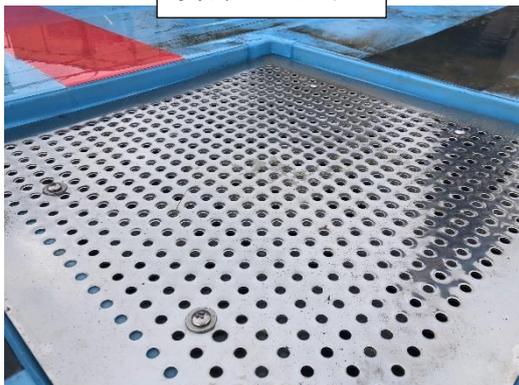
258-7661, 7662

緊急時対応フローチャート



川口市立鳩ヶ谷小学校 プール排水固定ネジ (令和6年5月30日固定)

資料1 全体



資料2 ネジ①



資料3 ネジ②



資料4 ネジ③



資料5 ネジ④



<プールの大きさ、深さについて>

1 縦：25m 横：12.5m

2 深さ（満水時）

スタート・ゴール（両端）：0.9m

最深部（中央）：1.1m

